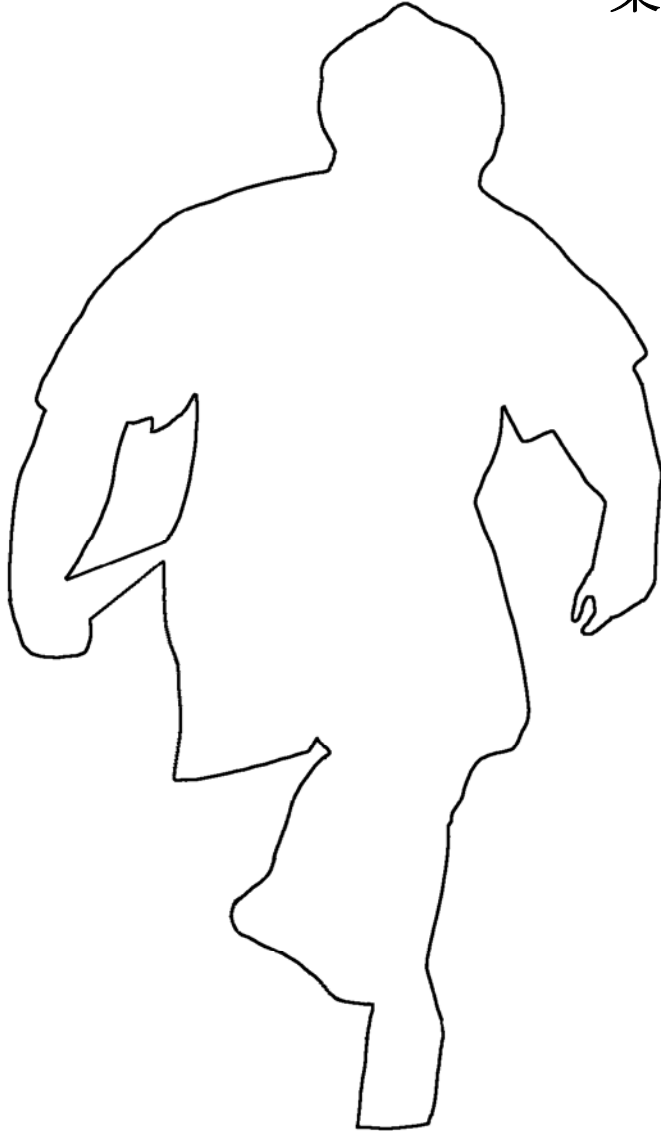


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



おう

王さまダビデ

(その1)



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Lazarus; Alastair Paterson

かいさくしゃ

改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅつぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2021 Bible for Children, Inc.

きよか
許可:

たにん う かぎ
他人に売らない限り

はなし また
このお話のコピー、又はプリントは、

きよか
許可されています。



ダビデは、あちらこちらと、にげまわっていました。それは、サウル王がダビデ
を殺そうとさがしていたからです。あるとき、ダビデはだれも人の住んでいない
荒れた地に、ものすごく大きいほら穴を見つけましたよ。ダビデは、400人の
けらいとそこに住むことにしました。



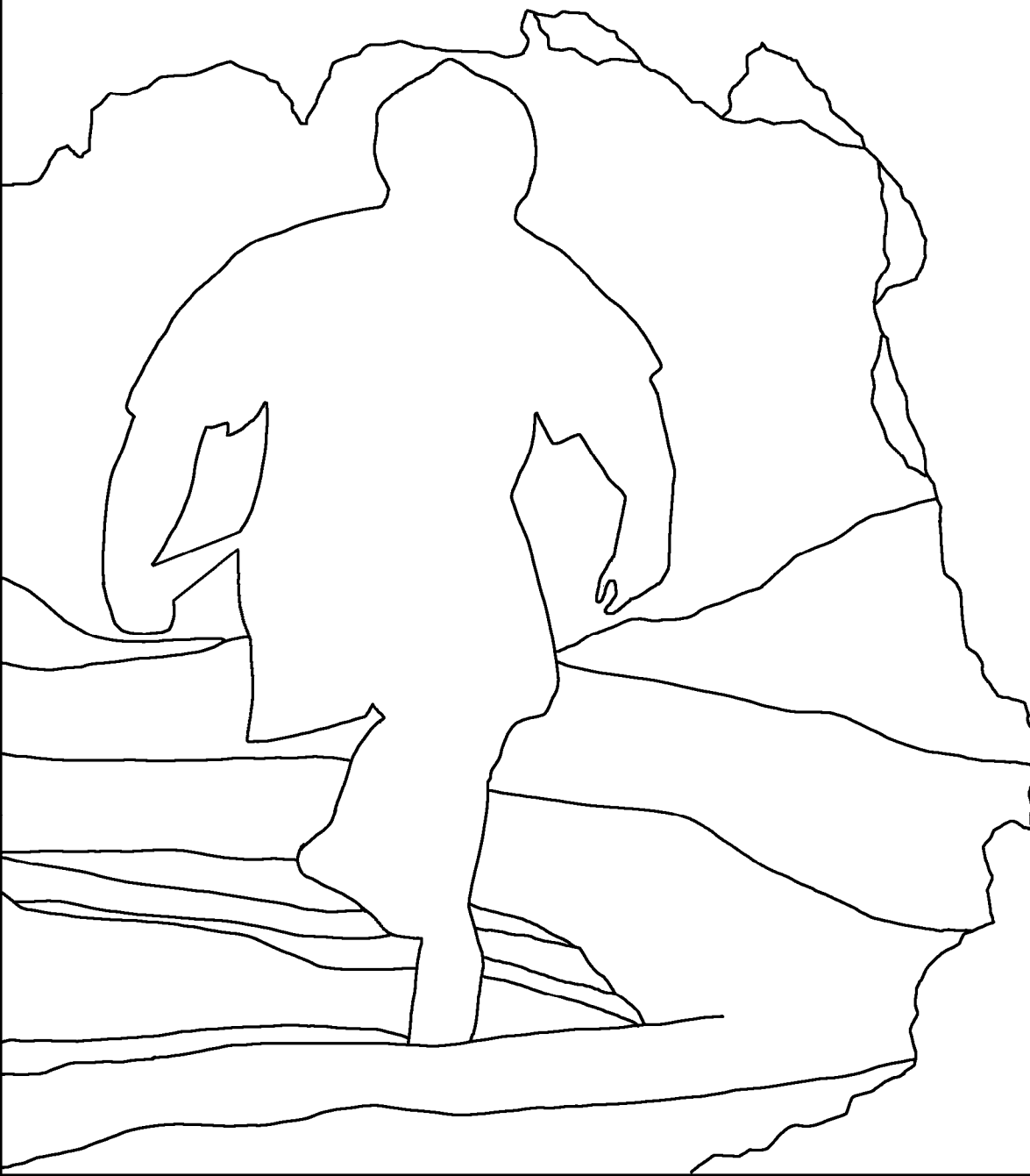
あつ、あぶない！はやくかくれて！ときどきサウルの兵士たちに、見つかりそう
になります。でもね、ダビデは、いつもうまくにげていますよ。



サウルの召しつかいに、ドエグという人がいました。この人はサウルに、そっと
い
言いました。「じつは祭司たちが、ダビデがにげるのを助けたんですよ。」それ
し
を知ったサウルは、めいれいしました。「祭司を殺してしまえ！」召しつかいの
なか
中で、ただドエグだけが、よろこんでサウルのめいれいにしたがいました。かれ

は、ひどいことに、85人の祭司とその家族みんなを、
じぶん
自分のつるぎでさし殺しました。
なんてひどいことでしょう。





ひ
ある日、サウルは、ダビデを
さがしながら、ちょうど見つ
み
けたほら穴の中へ、入ってい
あな なか はい
きました。でもね、そのほら
あな
穴には、ダビデとけらいたち
がかくれていたのです。サウ
ルは、たった1人でしたよ。



あな

ほら穴の中にかくれていたダビデ、いまがチャンス
です。かれは、いまサウルをかんとんに

ころ
殺せるのです。さあ、ダビデはサウ

ころ

ルを殺したでしょうか。いいえ、
そのかわりにね、ダビデは、そう
っとサウルにちかづき、みじ

とだ

かいづるぎを取り出し、ゆ

うわぎ

らゆらした上着のはしを

きと

切り取った

あな で

のです。サウルがほら穴から出ていったとき、ダビデはうし

よ

おう

ろからついていき、サウルを呼びました。「サウル王、ダビ

すこ

うわぎ

きと

デです。少しまえ、わたしは、あなたの上着のはしを切り取り

み

ころ

ました。さあ、見てください。わたしは、あなたを殺すことがで

ころ

きた。でも殺さなかったのです。わたしは、あなたをにくむこと

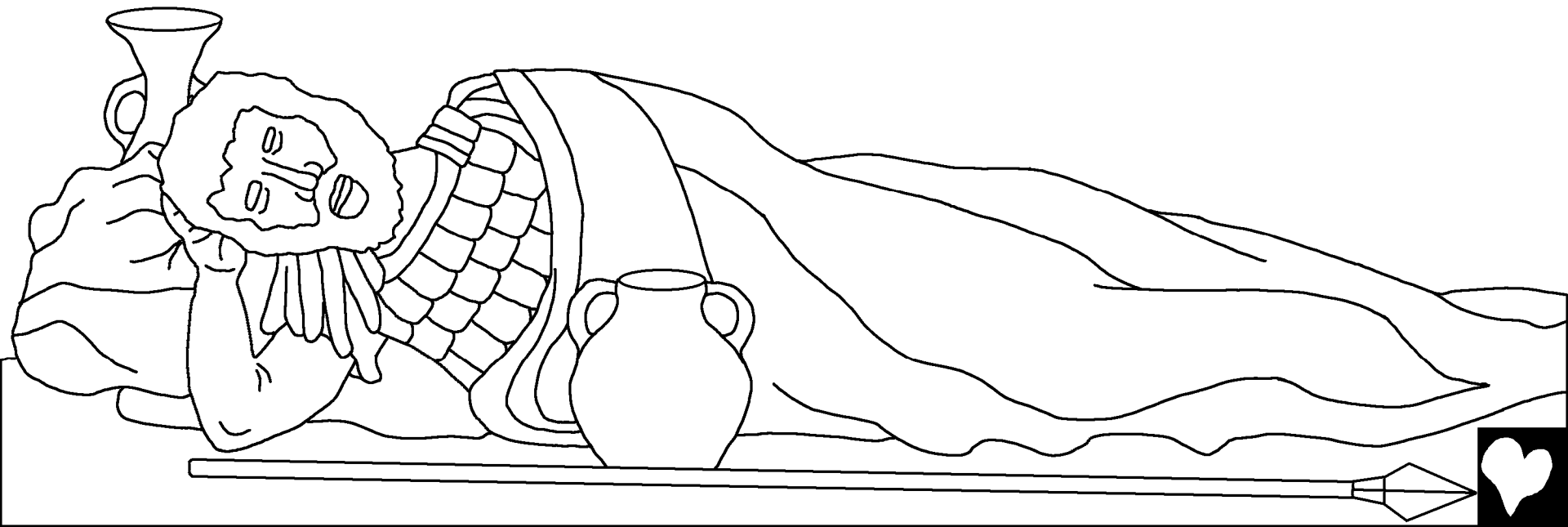
しかえ

おも

も、仕返ししようとも思っていないのです。



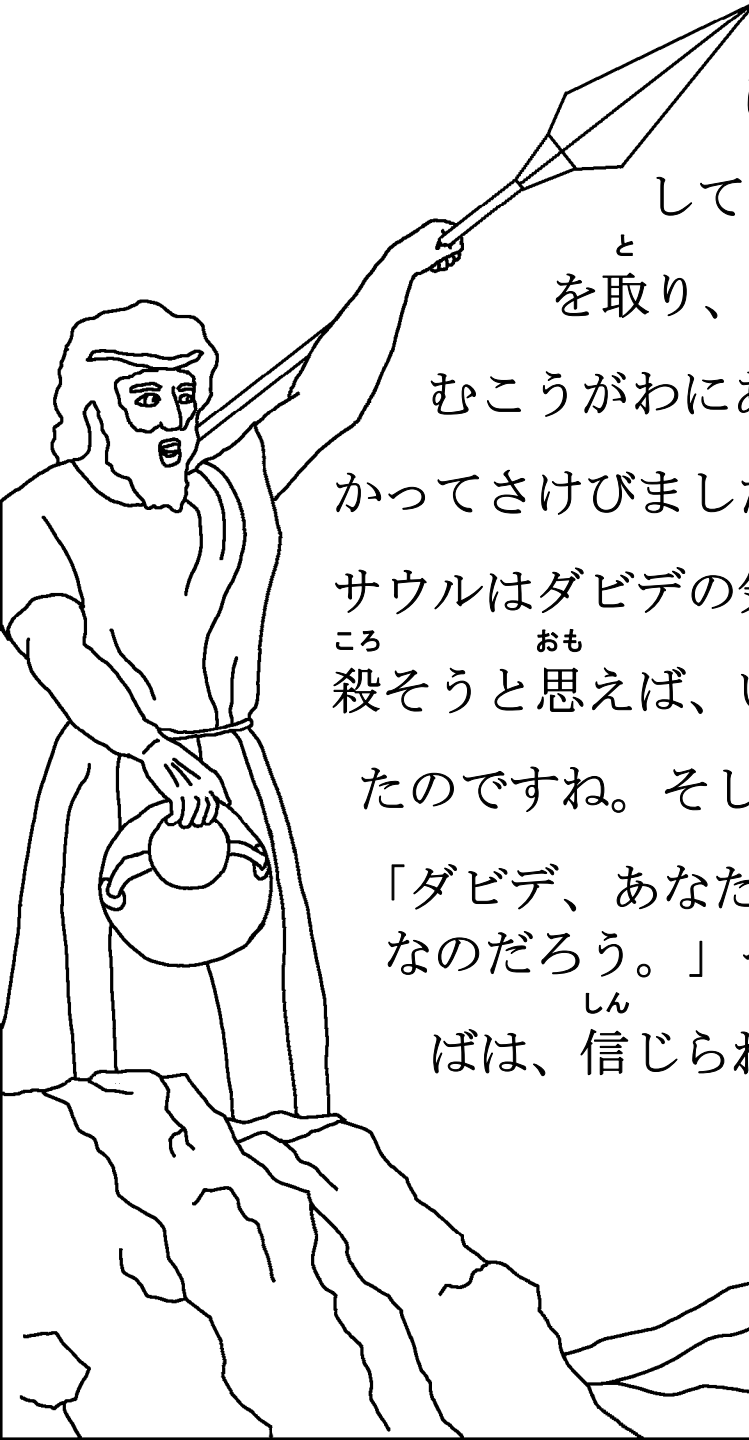
「なんと自分は、悪いやつだろう。」そのとき、サウルは、ダビデを殺そうとし
た自分を、心からはずかしく思いました。ところが、またすぐに、むかしのこ
とを思い出し、ダビデへのにくしみと怒りの心が、わいてきました。そして、
またしてもダビデを殺そうと、3000人もの軍をつくりました。ある夜、サウ
ルの軍がねむっているとき、その軍のキャンプに、ダビデと1人の兵士アビシャ
イが、そっと軍のキャンプにしのびこみました。そこでは、サウル王がきもち良
さそうにねむっていますよ。





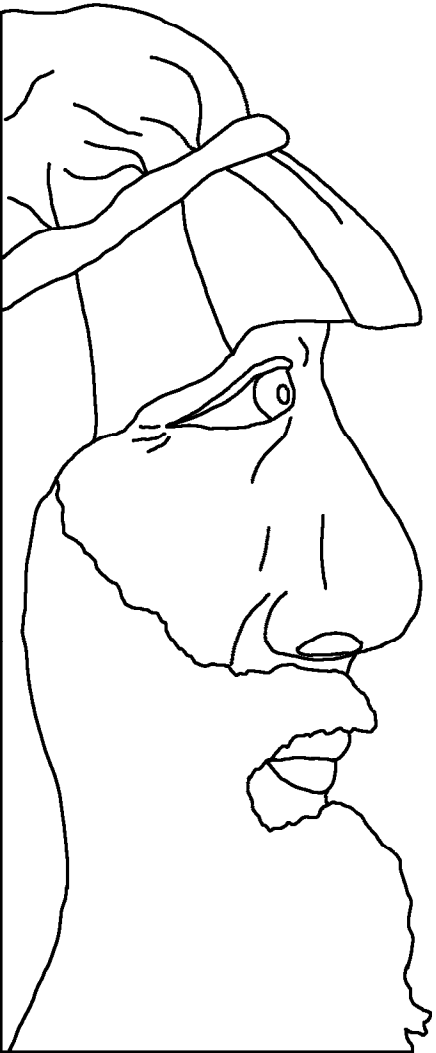
「ダビデさま、神さまはきょう、
あなたのおうてきサウル王を、あなた
の手にくださっているのです。勝
つことができるのです。」アビ
シャイは、小さな声でささやきま
した。「どうぞ、サウル王をわた
しのやりで、殺させてください。
たった一つきで殺せますから。」





けれどもダビデは、きっぱりと言いました。「殺
してはならない。」そしてサウルのやりと、水のびん
を取り、そのキャンプから出ていったのです。それから、
むこうがわにある丘の上まで行き、こんどは大声でサウルにむ
かってさげびしました。サウルに聞こえるまで何どもね。またしても、
サウルはダビデの気もちがわかりました。なぜなら、ダビデは、
殺そうと思えば、いつでもサウルを殺せたのです。でも殺さなかつ
たのですね。そして、このときもまた、サウルはこう言いました。
「ダビデ、あなたを殺そうとしたわたしは、なんて悪いやつ
なのだろう。」ってね。でも、ダビデは、もうサウルのこと
ばは、信じられませんでした。





このころ、サムエルはもうすでに亡くなり、
この世にはいませんでした。このサムエルは、
よげん者^{しゃ}でしたね。そのむかし、神さまはサム
エルにサウルに油^{かみ}そそぎをするように言われた
のでしたね。それからイスラエルの王として、
ダビデに油^{あぶら}そそぎをするようにね。さてペリシ
テ人^{じん}が、イスラエルをせめてきたときです。
サウルが何かとても悪いことをしました。
それは、神さまが、決してしてはいけないと言
われていたことでした。それは、どんなこと
でしょう。



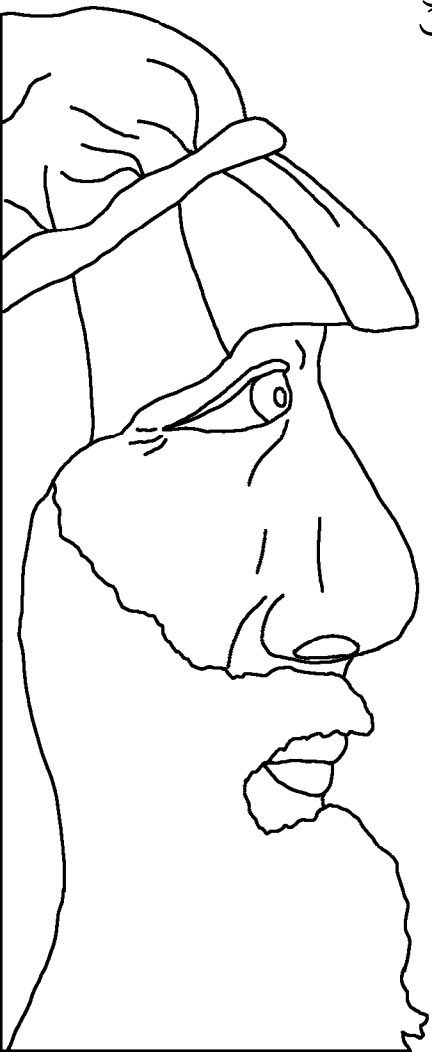
おんな ひと い

サウルは、ある女の人のところへ行きましたよ。そして、

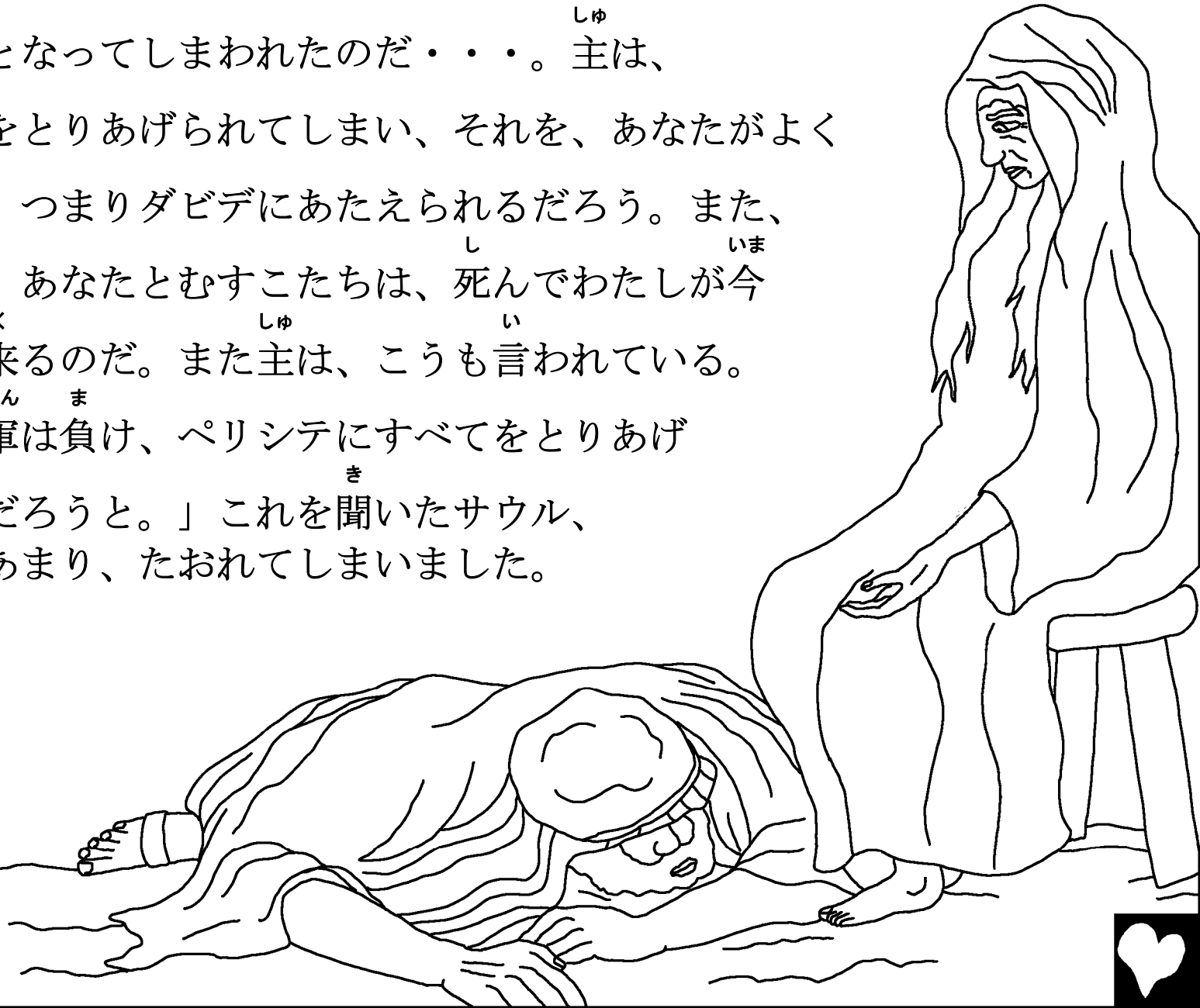
かの女に死んでしまったサムエルを、もういちどこの世に呼ぶようにと、

めいれいしたのです。その夜のことで。サウルは、どこからか、

こう言われているのが聞こえました。



「・・・サウル、主はあなたから、もうはなれてしまわれた。
そして、てきとなってしまうのだ・・・。主は、
あなたの王国をとりあげられてしまい、それを、あなたがよく
知っている人、つまりダビデにあたえられるだろう。また、
あすになれば、あなたとむすこたちは、死んでわたしが今
いるところに来るのだ。また主は、こうも言われている。
イスラエルの軍は負け、ペリシテにすべてをとりあげ
られてしまうだろうと。」これを聞いたサウル、
おそろしさのあまり、たおれてしまいました。



じん

たたか

ペリシテ人は、イスラエルとはげしく戦い、イスラエルの男たちはみんな、とうとうにげてしまいました。

おとこ

にん

そのとき、ペリシテ人はサウルのむすこたち

ころ

も殺したのです。そう、

とも

ダビデのたいせつな友、

ヨナタンもね。



ゆみ

サウルもまた、弓でうたれ、

からだ

体じゅうキズだらけです。

そこでかれは、よろいやかぶとを

はこぶけらいに、言いました。

「さあ、おまえのつるぎをぬき、

ころ

わたしを殺しておくれ。

わる

悪いやつらがやってきて、

わたしをつるぎでさし、

ズタズタにしてしまわないように。」

けれども、けらいは、言いました。

おう

「王さま、そんなことするなんて・・・。

おそろしくてできません。」

も

そこで、サウルは、持っていたつるぎをぬき、

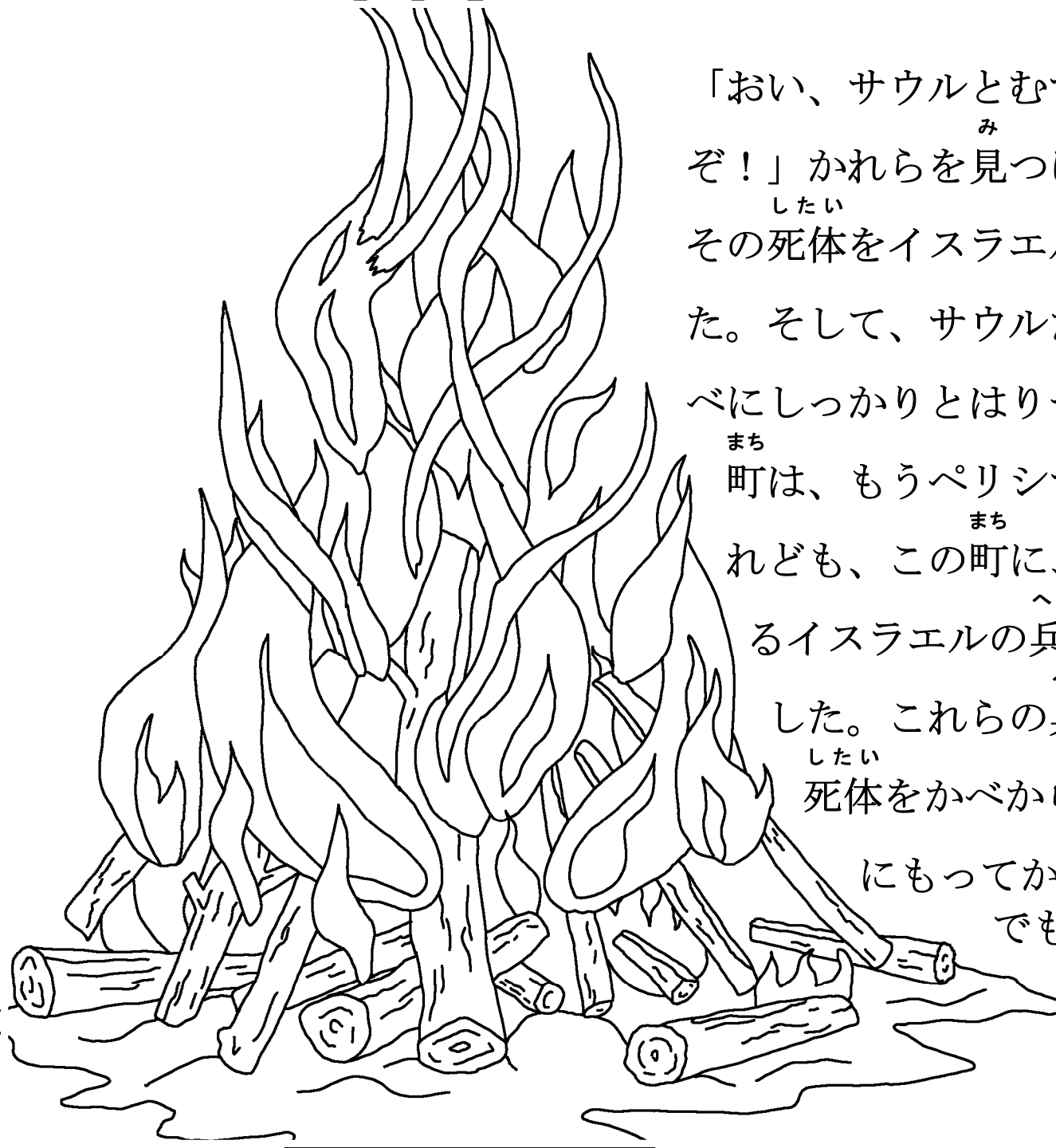
うえ じぶん

その上に自分からたおれて

し

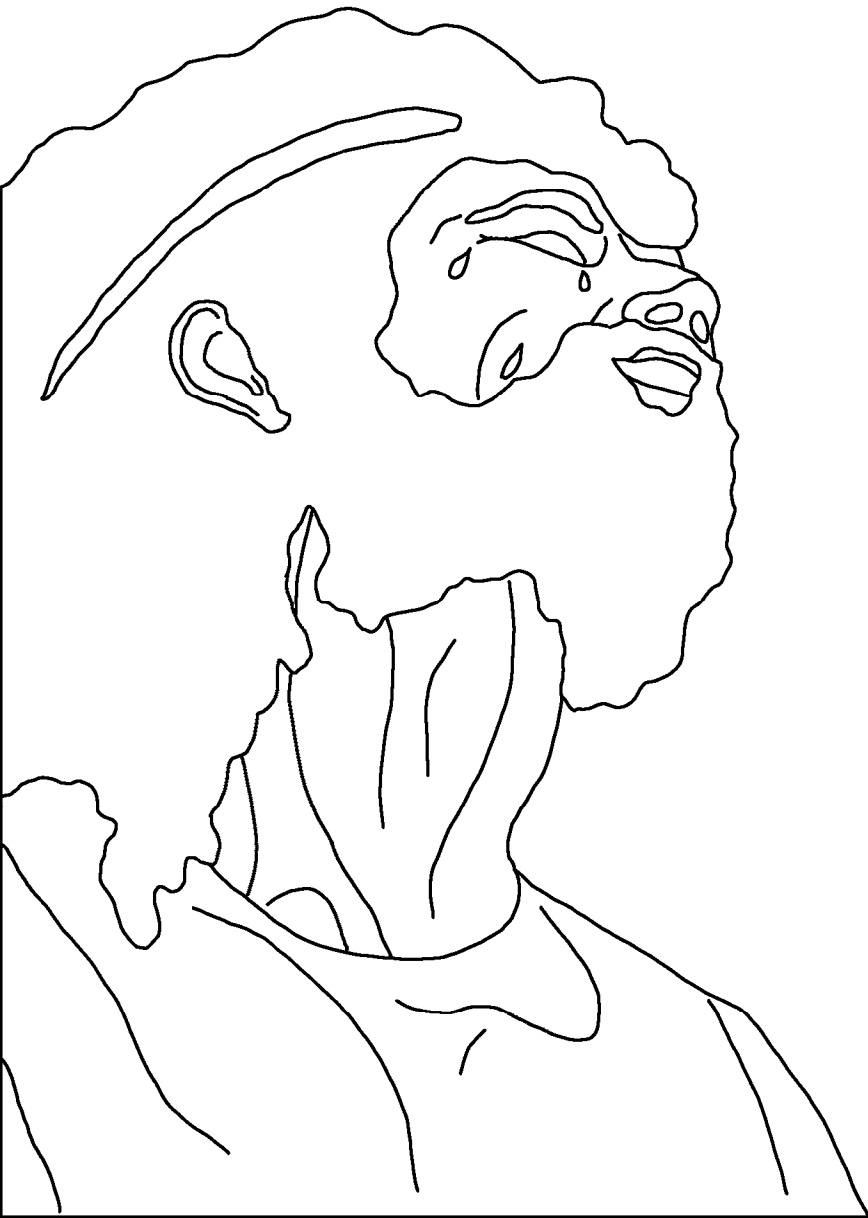
死んでしまったのです。





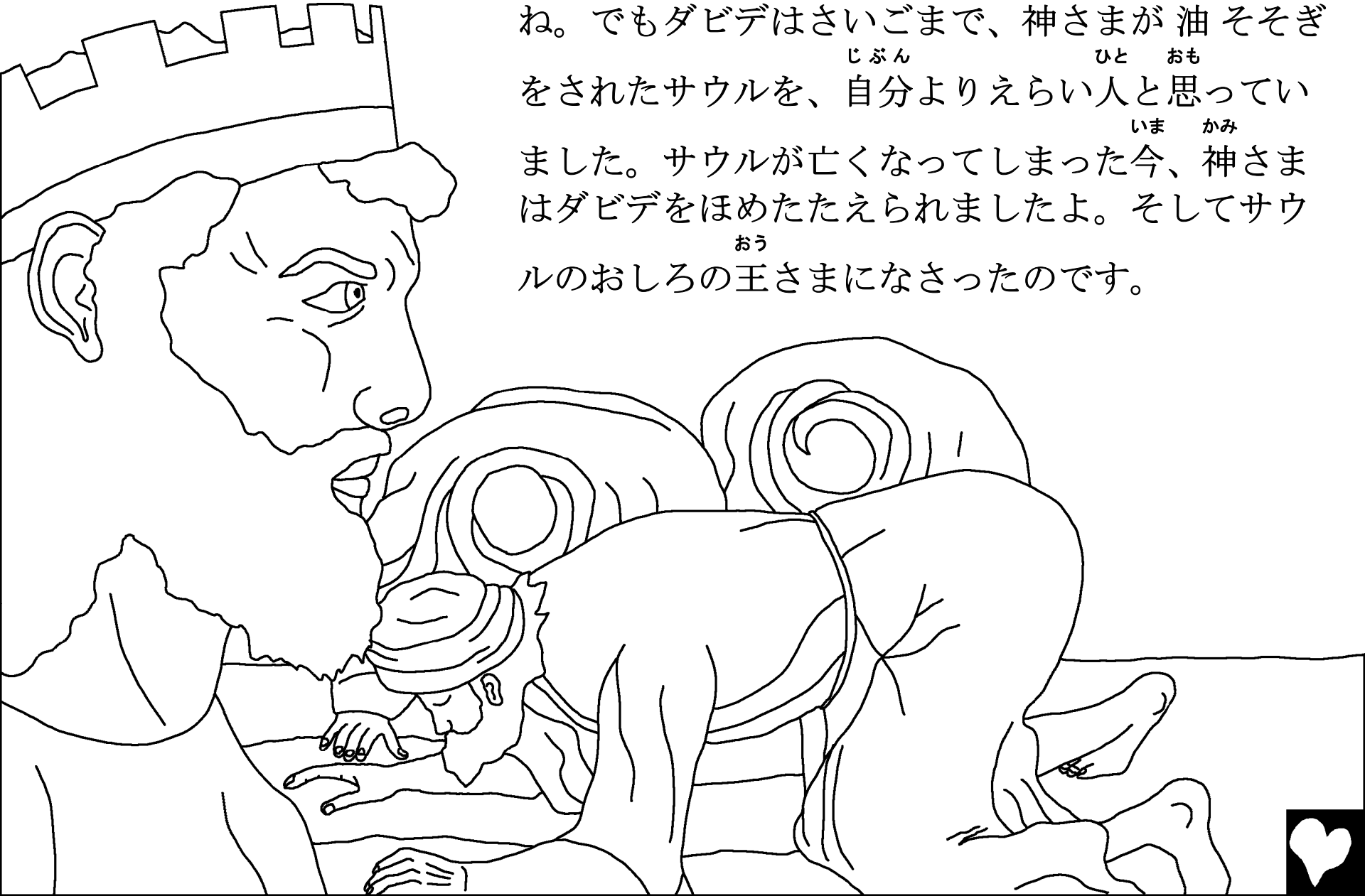
「おい、サウルとむすこたちが死んでいる
ぞ！」かれらを見つけたペリシテ人たちは、
その死体をイスラエルの町まではこびまし
た。そして、サウルたちの死体をこの町のか
べにしっかりとはりつけたのです。今、この
町は、もうペリシテのものなのですね。け
れども、この町に、まだ何人かのゆう気あ
るイスラエルの兵士たちがのこっていま
した。これらの兵士は、サウルたちの
死体をかべから下ろし、自分たちの家
にもってかえりました。そして、火
でもやして、イスラエルの
地にうめてあげたの
でした。





そのひどい知らせを聞いたダビデ、
ほんとうにかなしくてたまりません。
そして、サウルやヨナタン、
かみ たみ おも
神の民イスラエルのことを思い、
な ゆうがた なに た
泣いて夕方まで何も食べませんでした。
なぜなら、かれらはつるぎによっ
し
て死んでしまったのですから。





ころ
サウルは、ダビデをなんども殺そうとしました
ね。でもダビデはさいごまで、神さまが^{かみ}油^{あぶら}そそぎ
をされたサウルを、自分より^{じぶん}えらい人^{ひと}とおも
いました。サウルが亡くなってしまった今、神さま^{いま}
はダビデをほめたたえられましたよ。そしてサウ
ルのおしろ^{おう}の王さまになさったのです。



おう
王さまダビデ (その1)

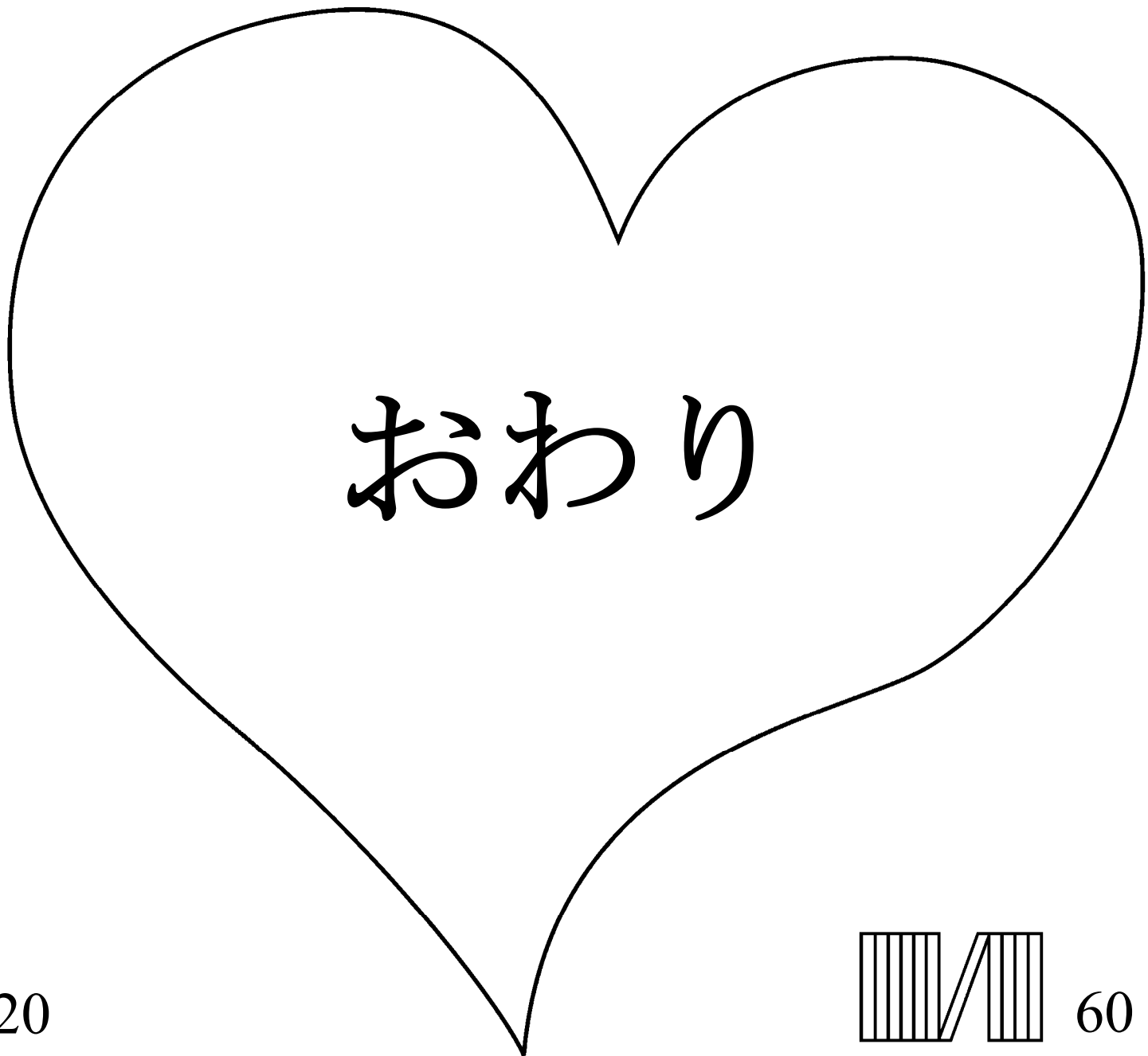
かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう きげ しょう しょう
サムエル記上 **24** 章 - **31** 章 ; サムエル記下1章 - **2** 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 **119:130**

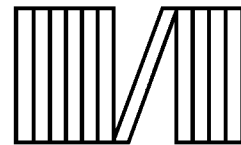




おわり



20



60



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪つみとよばれています。その罪つみのむくいは、死しです。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世よに送おくってくださいました。そしてあなたの罪つみのために、十字架じゅうじかじょう上で亡なくなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信しんじ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今いま、あなたの所ところへ来きて、あなたのこころなかの中に住すんでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょいに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信しんじるなら、神さまかみにこう言いってください。

あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛あいする神かみさま、私わたしは、あなたが神かみさまと信しんじます。あなたは人ひととなり、私わたしたちの罪つみのために亡なくなつて
くださいました。そして、よみがえいって、いま生いきて
わたし なか き つみ わたし いま
いらっしゃいます。どうか、私わたしのこころなかの中なかにき来きて、罪つみをゆるしてください。それで、私わたしは今いま、あたら
しい命いのちをいただげます。そして、いつか、あなたの所ところへ行いき、いつまでもあなたといっしょいにこいること
ができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子ことして生いきることができますよう、たすけて
ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書せいしょをよみ、神かみさまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書ふくいんしょ 3 : 16

